# **EUROPEAN PATENT OFFICE**

## **Patent Abstracts of Japan**

**PUBLICATION NUMBER** 

62119543

**PUBLICATION DATE** 

30-05-87

**APPLICATION DATE** 

20-11-85

APPLICATION NUMBER

60258492

APPLICANT:

MITSUBISHI ELECTRIC CORP;

INVENTOR:

TAKAYAMA KENJI:

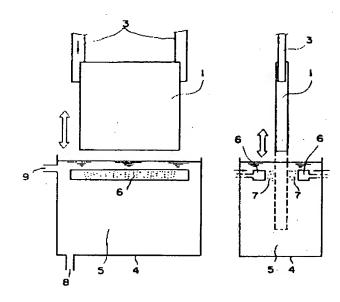
INT.CL.

G03F 1/00 B08B 3/10 H01L 21/304

TITLE

APPARATUS FOR PRODUCING

**SEMICONDUCTOR** 



ABSTRACT :

PURPOSE: To remove the deposit on the surface of a photomask by providing a pair of foam generating parts facing each other to the inside of a cleaning tank in which a detergent such as org. solvent or pure water is filled.

CONSTITUTION: Foam groups 7 are ejected from the fine pores of the foam generating parts 6 in the cleaning tank 4 to which the detergent 5 is supplied from an inlet 8 at a prescribed flow rate by the high-pressure air forced into the foam generating parts 6. A mask holder 3 is then moved upward or down ward by which the photomask 1 is immersed into the detergent 5. The foam groups 7 are then injected to the surface of the photomask 1. The collision energy of the foam groups 7 by the injection, the rupturing force of the foam groups 7 in the stage of collision and further the resistance on the surface with the detergent 5 by the vertical movement of the photomask 1 are thereby synergistically acted, by which the fine foreign matter sticking to the surface of the photomask 1 is efficiently removed.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

⑫日本国特許庁(JP)

10 特許出願公院

# ⑩公開特許公報(A)

昭62 - 119543

@int,Cl.4	識別記号	厅内整理番号	<b>②公開</b>	昭和62年(19	87) 5月30日
G 03 F 1/00 B 08 B 3/10 H 01 L 21/304	GCA	Z-7204-2H Z-6420-3B		•	
H 01 L 21/304			審查請求 未踏求	発明の数 1	(全3頁)

69発明の名称 半導体製造装置

②特 額 昭60-258492

❷出 頤 昭60(1985)11月20日

砂発 明 者 高 山 健 司 熊本県茶池郡西合志町御代志997 三菱電機株式会社熊本

製作所内 三菱 電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

80代 理 人 弁理士 佐縣 正年 外2名

弱 網・書

1 数据の名称

**单等学製造装置** 

②出 頃 人

#### 2. 勢許請求の範密

(厳集上の利用分数)

この段明は、中事体制 込設 区において 光根写に 使用するフォトマスクの沈浄設 国に関するもので ある。 【健康の技修】

82個は従来の半導体酸遊製量におけるフォトマスクの免渉装置の一例を示す正函数面図およびの動所面図であり、(i)は免渉されるフォトマスク、(2)はこのフォトマスク(i)の例何に設けられた一対の洗浄ブラシで、例示のない影動機構によって向転し、例えば洗浄権内の有機が別などに没複されたフォトマスク(i)回に母接しながら、付着している気勢を禁会するようになっている。(ははフォトマスク(i)を保持して上下に参助するマスク保持具である。

上記のような構成の世来のマオトマスク洗浄技能において、新えば有機溶剤が満たされた洗浄体内で回転する一対の洗浄フラシ(別面を、上下に影動するマスク保持具(3)によって記符されたフォドマスク(1)を移動させ、フォトマスク(1)面に対する決帯プラシ(2)の所定の界圧力によって固設させながらフォトマスク(1)面に付着している異物を事会し、リンスおよび乾燥工程を経て洗浄操作が終了する。

W

#### **時間曜62-119543 (2)**

[発明が悠然しようとする問題点]

上記のような世来のフォトマスク洗浄装置では、 国転する洗浄ブラン(2)のフォトマスク(1) 国に対す る短弦によつて付着した反称の禁失を行うので、 フランの未辞をおよびお飲む症により数切な風動 の原表率、特に 10 km 以下の美物の除会率が良く ないので、所定通りの数会率の洗浄結果を符るためには、乾燥工程後に行う飲去率の検査による利 定に応じて同一フォトマスタの洗浄操作を数回も 反観して行なわなければならないような餌脂があった。

この発明はかかる問題点を解析するためになされたもので、1回の洗浄操作によってフォトマスクに分類な異等を所定差りの除去率で洗浄できるフォトマスク洗浄装置を得ることを目的とする。

(関脳点を解決するための学段)

この知明に係るアオトマスク選渉要徴は、 有機 情期あるいは純水などの洗浄故が満たされた洗浄 様内に、指対向する一対の気燃発生都を設け、こ

(3)

彼し、國界のない望見類より高圧登免が圧落される智秋に形成した一対の気容発生態であり、その相対向する管盤には多数の細孔が多数されている。(?)はこれらの組孔より改出する気泡群、傾は洗浄 知例の入口、例は出口である。

なお、上記典数例ではフォトマスク(I)を上下に 移動させ、気効発生部(I)を固定した例について翻 の気治器性部の間をマスク保持異によって透接されたフォトマスクを上下にび動させるか、あるいはフォトマスクを開起して気治器を指を上下に移動し、気造発生器よりの気効をフォトマスク面に 吸針させることによってフォトマスク面の付着物 を設まするものである。

[作 启]

この発明におけるフォトマスク菌の付着物の除 会手段は、気を発生部へ圧発される空気圧によって気泡発生部型面に弾験された細孔より変出する 気泡器がフォトマスク菌に衝突するニネルギと、 この衝突時の気泡弾の後辺力とによってフォトマスク質に付着している散網な異物をも除会する。

「毎朝の寒陰別)

第1回はこの発明の一実施例による半等体験設設をおけるフォトマスク沈浄装置の構成を示す 正面所面図および側面断面例であり、(11、(3)は従来例を示した第2回における既符号と同一せたは 相当部分である。(4)は存職治剤や絶水などの洗浄 類似を強たしている洗浄福、(6)は洗浄剤切内に長

(4)

明したが、これとは逆に、フォトマスク(1)を洗浄 刺傷中に後後して軽定し、このフォトマスク(1)の 解御に気泡発生部側を上下に参酌させるように得 成しても、上記英麗例と同様の効果を安する。

(発明の効果)

この景明は以上説明したとおり、沈彦郊に現故 したフォトマスクとこのフォトマスクの何知に設 けた代記記生态との一方を固定して他を上下に移 動し、気知発生部より安出する気治器によつてフ オトマスク面の付着物を除虫するように構成した ので、後細な付着物をも除虫できて及予効率が良 くなり、高額度のフォトマスクが得られる効果が ある。

#### 4. 図画の類単な説明

新1回はこの発明の一実施例による半導体製型 装置におけるフォトマスク洗浄税便の情点を示す 正面新面図および個個新物図、第2回は従来の学 準体製造被性におけるフォトマスク洗浄機能の情 広の 例を示す正規制図図および側図前図面であ

(6)

http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/tjcontentdben.ipdl?N0000=21&N0400=image/gif&N0401=/N...

### 特同昭62-119543 (3)

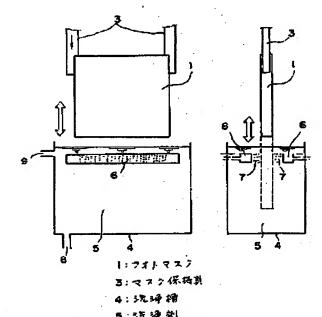
図

図において、(1)はフォトマスク、(3)はマスタ係 発具、(4)は洗浄値、(5)は洗浄剤、(4)は気海発生部、 (7)は気饱裂。

なお、BS中間一等等は関一または相当部分を泉す。

**介绍人 本阳子 丛 在 正 和** 

(7)



6: 氧饱处正部

**\*\*** 3 6

